

『過疎地域バス』見直しの取組について

平成21年11月24日

石川県珠洲市企画財政課

課長 金田直之

1 . はじめに



奥能登と呼ばれる能登半島の先端。

日本でも有数の交通が不便な地域。

こんな奥能登の珠洲だからこそ、里山と里海、そして伝統的な暮らしがたくさん残る。

珠洲市とは

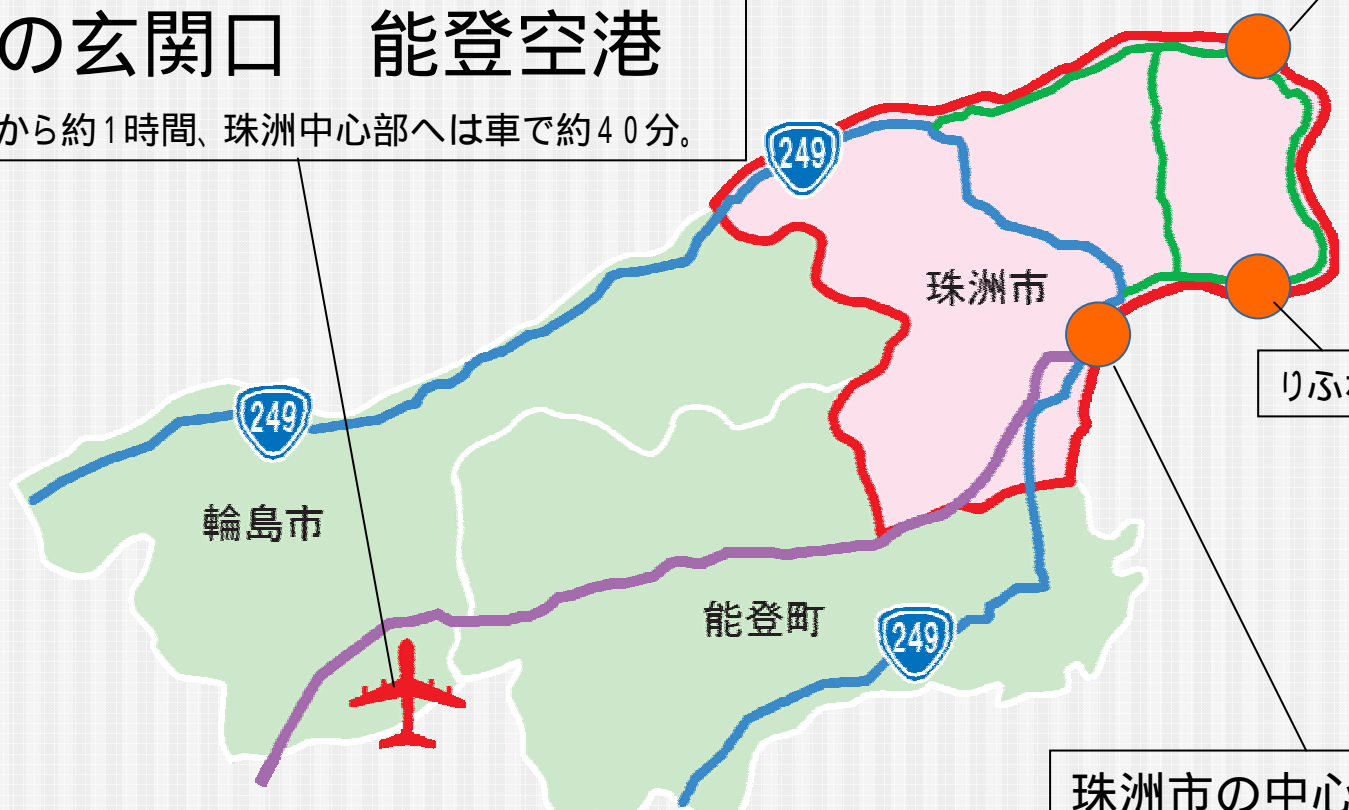
市制施行時人口 38,157人 (昭和29年)
現在人口 17,757人 (平成21年10月1日)
世帯数 / 6,581世帯 高齢化率 / 39.1%。

能登半島の最先端 禄剛崎

海から昇る朝日と海に沈む夕陽が
同じ場所から見られる場所。

空の玄関口 能登空港

東京から約1時間、珠洲中心部へは車で約40分。



りふれっしゅ村 鉢ヶ崎

珠洲市の中心部 飯田
商店街官公署などがある。

陸の玄関口 能登有料道路

金沢から珠洲まで、車で約2時間。

1 - 人口の予測

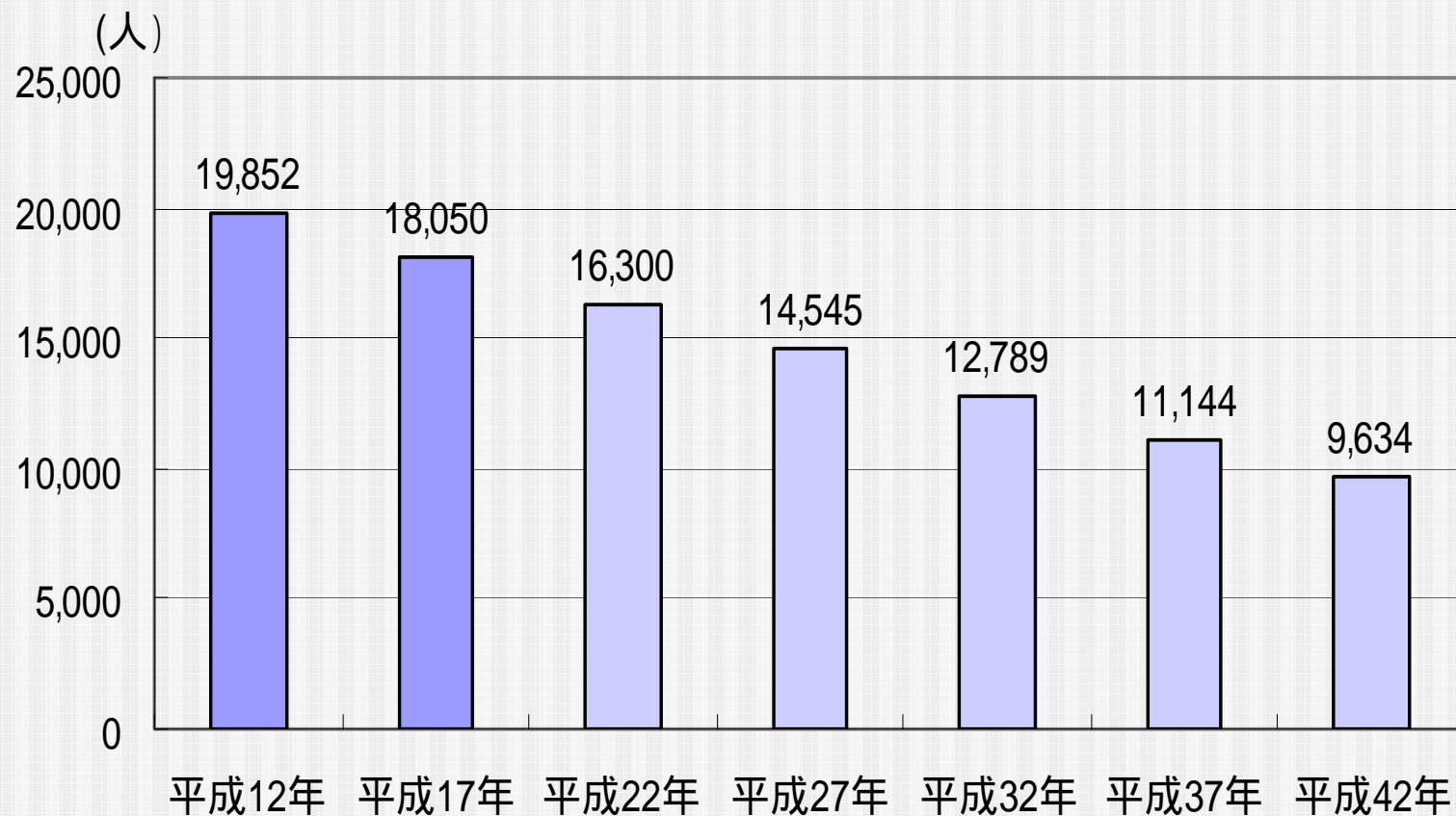


図1-1-3 . 人口推移の予測 (資料：国立社会保障・人口問題研究所)

1 - 現在取り組んでいること

半島の先端を活かした取組(その1)

マグロ畜養事業

- ・夏に日本海で獲れる天然マグロを、珠洲市沖に設置した「いけす」に年末時期まで「畜養」し出荷。

能登半島先端が日本海のマグロ漁場の中心に位置し、波静かなうえに、潮の流れが適度で海洋汚染の懸念がない。

マグロ畜養事業



沖合に設置の畜養いけす

今年は120本を畜養
(10月下旬で出荷完了)



1 - 現在取り組んでいること

半島の先端を活かした取組(その2)

能登半島里山里海自然学校

- ・国立大学法人金沢大学が、里山里海保全活動とその調査研究を実施。(H18~)
- ・里山マイスター(1次産業の担い手)育成事業を実施。(H19~23)
- ・日本海側における黄砂等中国大陸からの大気観測拠点

能登半島里山里海自然学校



自然学校能登学舎
(旧市立小学校空き校舎)

付近のビオトープでの観察会



2 公共交通の現状

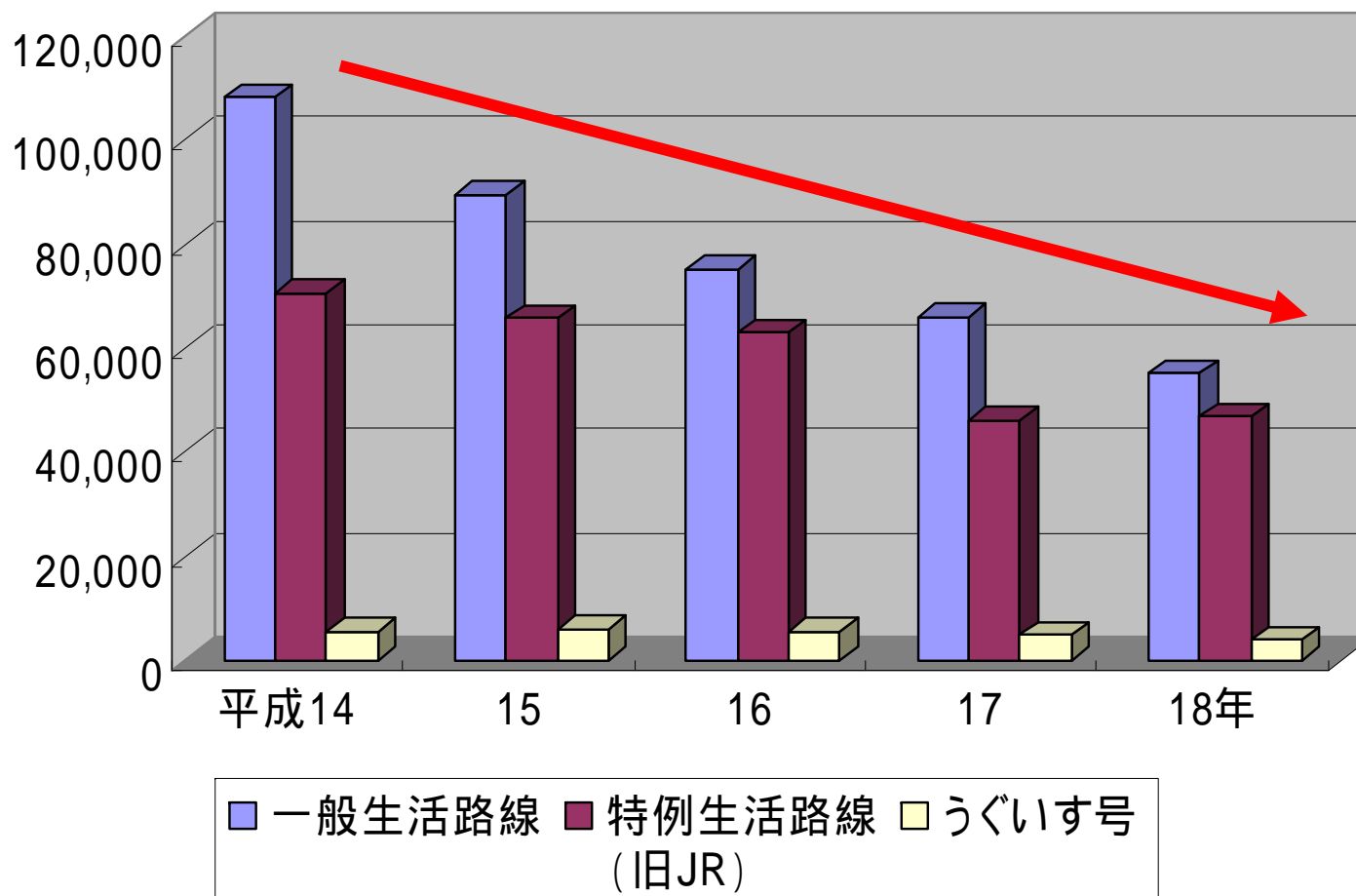
2 - 奥能登の公共交通の経過

平成15年 7月 7日 能登空港開港

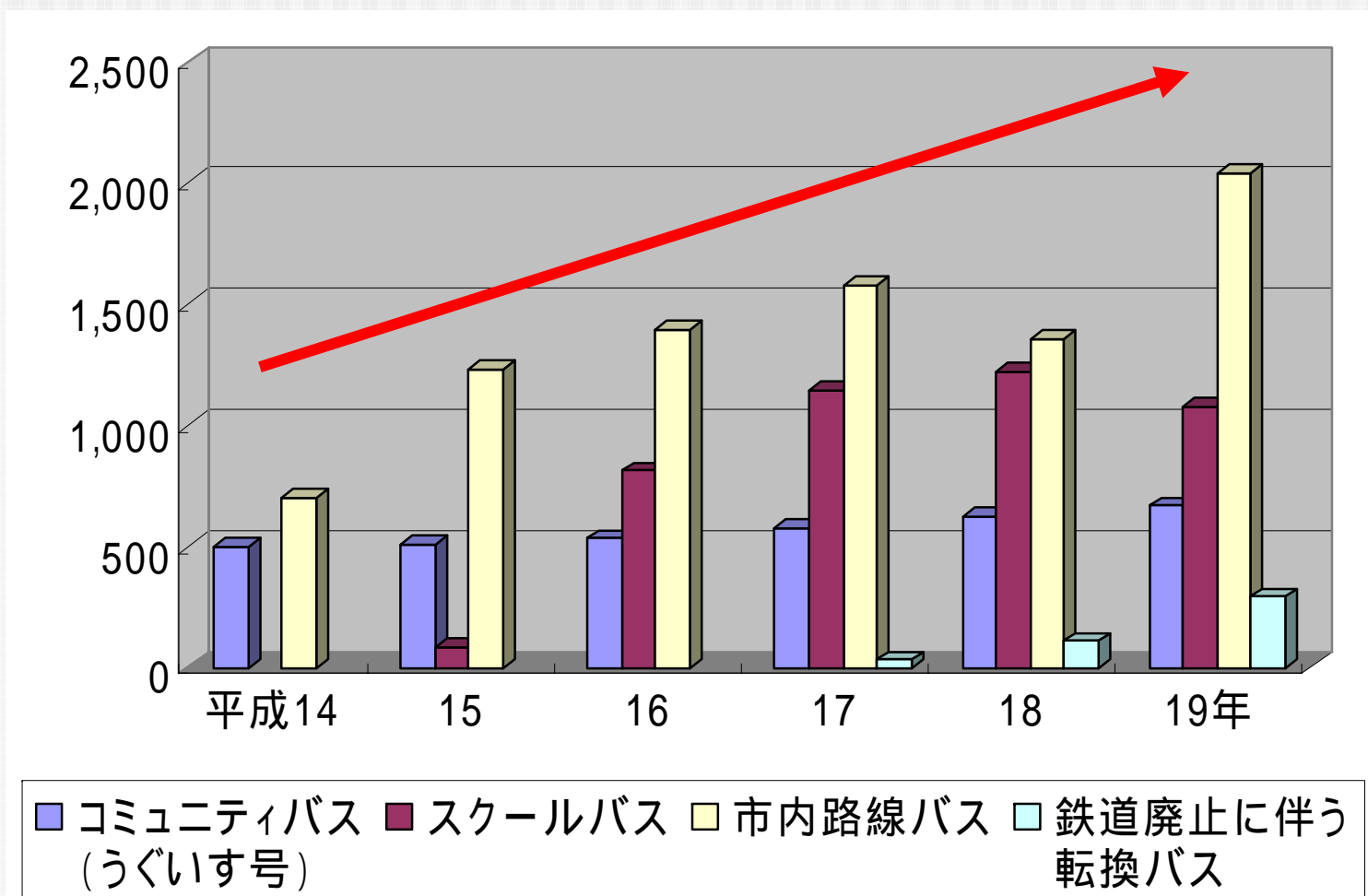
平成17年 3月31日 のと鉄道能登線廃止
4月 1日 代替えバス運行開始

平成19年 7月 佐渡市へのチャーター便就航

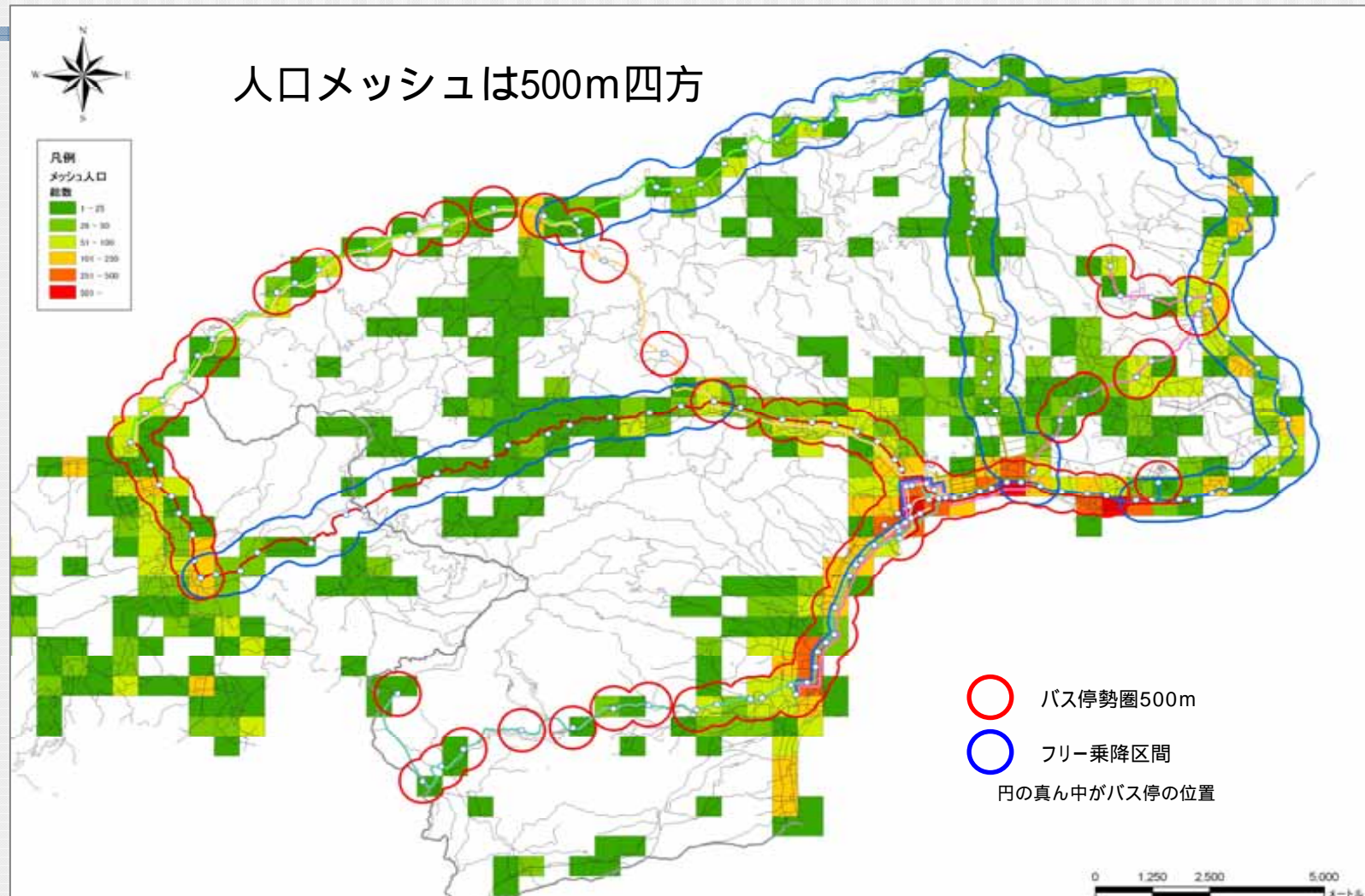
2 公共交通の現状（利用者の状況：人）



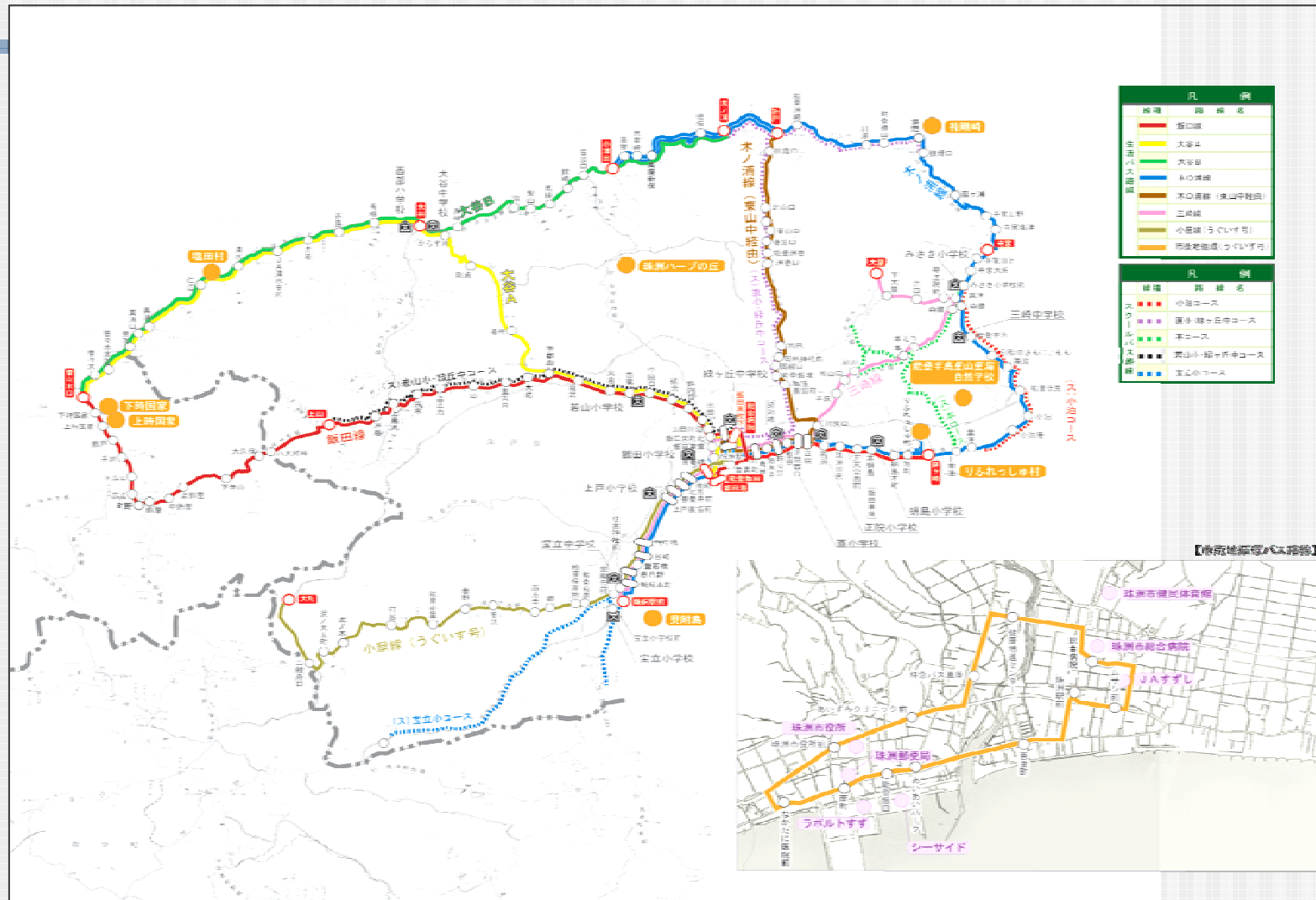
2 公共交通の現状（運行支援の額：万円）



2 公共交通の現状



2 公共交通の現状



3 過疎地域を支えるバスの“かたち”を求めて

3 - 公共交通活性化総合連携計画の策定に着手

平成19年 7月 珠洲市地域公共交通会議を設置

・空バスが多い、スクールバスとの重複(効率化)

・乗り換えなど路線網がわかりにくい

・交通空白地帯の解消(高齢化に伴う需要増)

平成19年10月 珠洲市地域公共交通活性化協議会を設置し、
運行実験を導入した本格見直しを開始

3 - 利用実態の把握から見えたもの

乗車人数(平日・1便あたり平均)

		6:00-	7:00-	8:00-	9:00-	10:00-	11:00-	12:00-	13:00-	14:00-	15:00-	16:00-	17:00-	18:00-	19:00-	全体
飯田線	曾々木口→飯田港	8.0					3.6			1.2						4.3
	飯田港→曾々木口						6.6		8.8			4.2			1.0	5.2
大谷A	曾々木口→飯田港		25.0		11.0			1.4						0.0		9.4
	飯田港→曾々木口			0.4				13.6			10.4		5.4		4.2	6.8
大谷B	曾々木口→木の浦							2.6			9.8		0.8			4.4
	木の浦→曾々木口		9.1						1.4			1.2		0.0		4.2
木の浦線	鶺鴒駅前→木の浦	0.6		3.0			20.0			4.6			20.4		9.4	9.7
	木の浦→鶺鴒駅前		19.2		17.4				3.0		4.0	4.8				11.3
木の浦線 (東山中経)	能登飯田→木の浦									12.0	5.0		0.4			3.4
	木の浦→能登飯田		16.2													16.2
三崎線	鶺鴒駅前→大屋							8.4	3.0					2.0		4.5
	大屋→鶺鴒駅前			7.2				3.4		1.4						4.0
小屋線	総合病院→大町	0.0						8.6			5.4		1.6			3.9
	大町→総合病院		7.8											0.2		3.4
	市街地循環バス				2.6	4.2	1.0									2.6
時間帯別利用客数(1便平均)		2.9	15.1	3.5	10.3	4.2	7.8	6.3	4.3	3.0	6.9	2.6	5.7	0.6	4.9	6.2

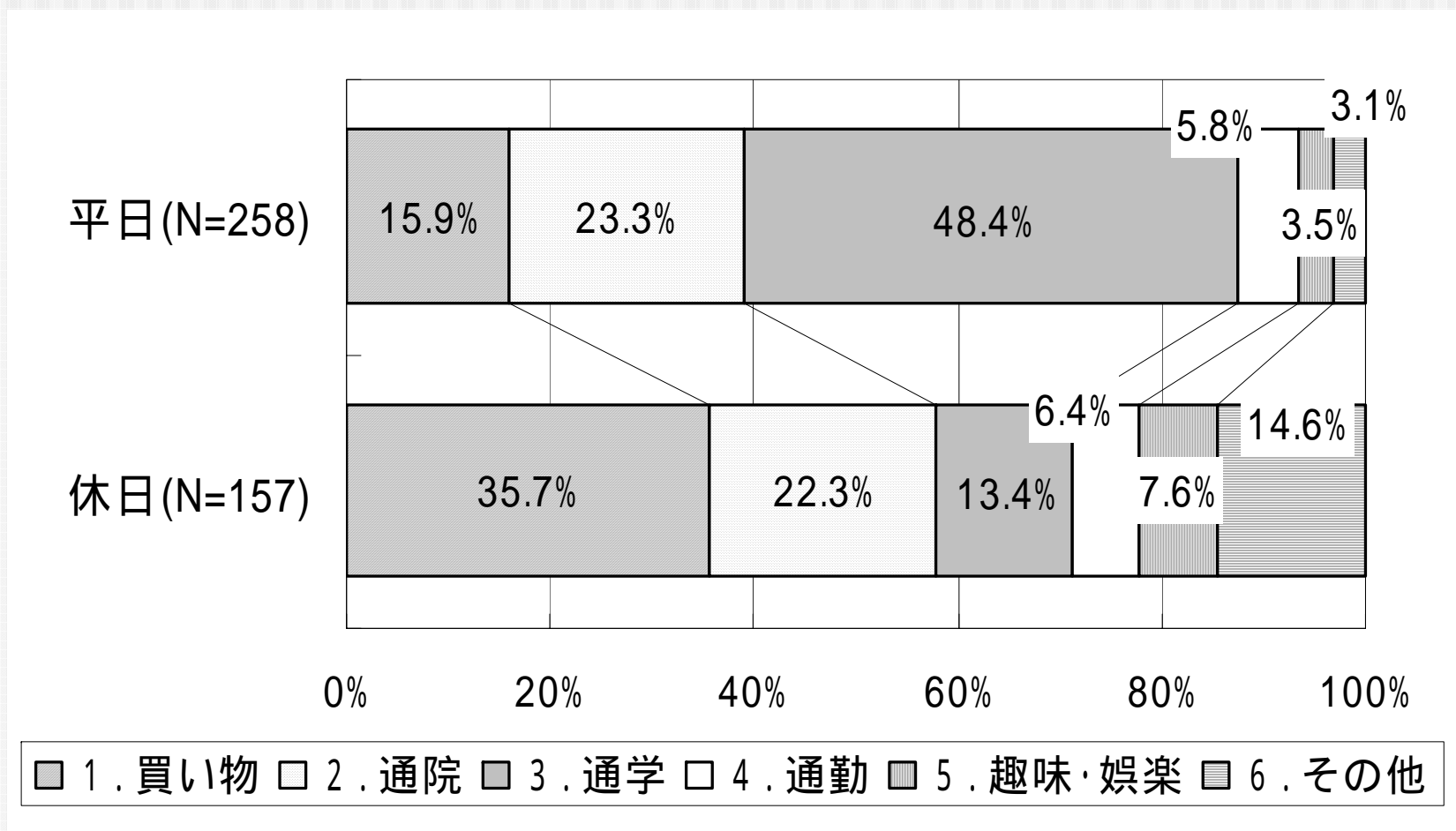
乗車人数(土日・1便あたり平均)

		6:00-	7:00-	8:00-	9:00-	10:00-	11:00-	12:00-	13:00-	14:00-	15:00-	16:00-	17:00-	18:00-	19:00-	全体
飯田線	曾々木口→飯田港	2.5					3.0			1.5						2.2
	飯田港→曾々木口						4.0		3.0			3.0			0.5	2.4
大谷A	曾々木口→飯田港		5.5		5.5			2.0						0.0		3.3
	飯田港→曾々木口			2.0				5.5			6.0		2.5		1.5	3.2
大谷B	曾々木口→木の浦							2.0			0.0		0.5			0.6
	木の浦→曾々木口		2.3						0.0			0.0		0.5		1.0
木の浦線	鶺鴒駅前→木の浦	0.5		3.5		0.0	10.0			3.0			4.5		2.5	3.2
	木の浦→鶺鴒駅前		5.5		12.5				4.5		2.0	1.5				5.2
木の浦線 (東山中経)	能登飯田→木の浦										1.0		0.0			0.5
	木の浦→能登飯田		1.0													1.0
三崎線	鶺鴒駅前→大屋							5.0	3.0					0.0		2.7
	大屋→鶺鴒駅前			3.0				3.0		1.5						2.5
小屋線	総合病院→大町	0.0						6.0			7.0		1.0			3.5
	大町→総合病院		5.0						5.0					0.0		2.5
市街地循環バス					0.0	0.0	1.0									0.3
時間帯別利用客数(1便平均)		1.2	3.6	2.8	7.2	0.0	4.5	3.9	3.3	2.0	2.4	1.3	1.8	0.1	1.5	2.6

3 - 利用実態の把握から見えたもの

年齢	平日(N=276)		休日(N=165)	
	件数	%	件数	%
10才未満	47	17.0%	4	2.4%
10才代	77	28.0%	29	17.6%
20才代	2	0.7%	0	0.0%
30才代	4	1.4%	1	0.6%
40才代	8	2.9%	9	5.5%
50才代	11	4.0%	11	6.7%
60才代	35	12.7%	28	17.0%
70才代	43	15.6%	51	30.8%
80才代以上	31	11.2%	28	17.0%
無回答	18	6.5%	4	2.4%
合計	276	100.0%	165	100.0%

3 - 利用実態の把握から見たもの



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

地方の元気再生事業の採択(H20)による取組

- 1) バスボランティアサポートプログラム(B - VSP)の実施
- 2) 市民交流バスの運行実験
- 3) まちなかデマンドバス運行実験
- 4) バス利用促進キャンペーン
- 5) まちなかバス料金割引実験
- 6) ふるさと再発見バス試行運行
- 7) 市民フォーラムの開催

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

1) バスボランティアサポートプログラム (B - V S P) の実施



ボランティアによるバス待合所設置活動の様子

地域や団体でバス待ち環境を改善する活動を支援(5団体と協定)

・3集落(バス停建設、修繕、清掃)

・高校生(バス停清掃)

・ローターアクト(ベンチ設置)

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

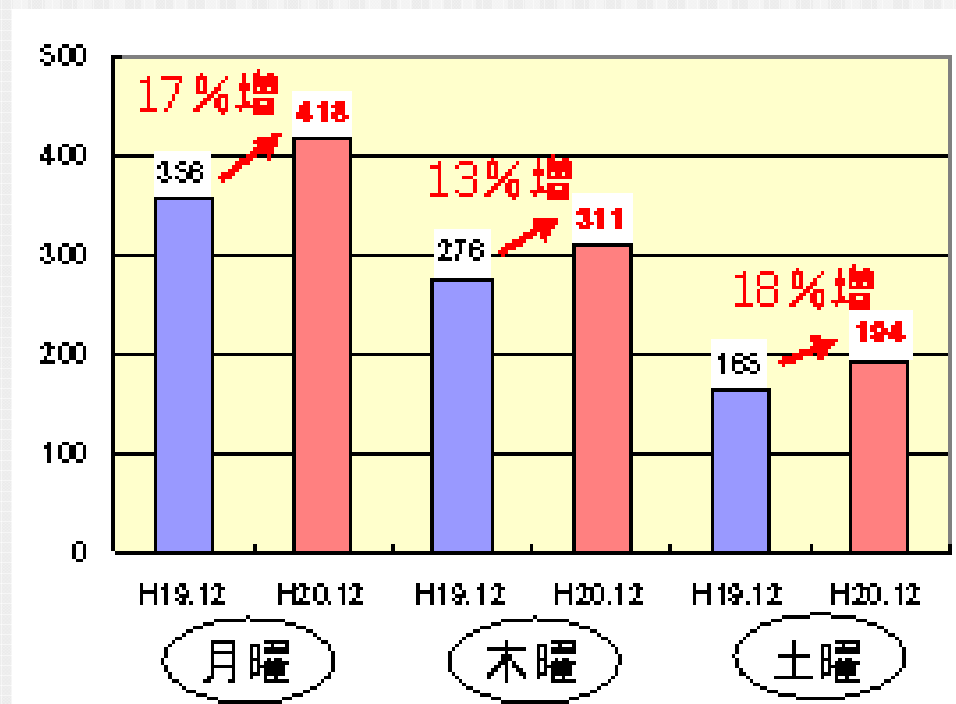
4) バス利用促進キャンペーン



利用促進キャッチフレーズ優秀賞のステッカー

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

5) まちなかバス料金割引実験



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

6) ふるさと再発見バス試行運行



珠洲市内の観光バスツアー

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

交通空白地帯への支援（のりタク）

・活性化再生総合事業で実施

隣接自治体との連携事業

ふるさとバス（能登空港～珠洲市、能登町）

奥能登青春バス

・自治体間を結ぶ県立高校生の通学バス（土日限定）

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

交通空白地帯への支援(のりタク)



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

交通空白地帯への支援(のりタク)

予約制乗合タクシー

のりタク 運行実験!

平成21年10月1日～平成22年1月29日
月～金曜日のみ運行 ※土・日・祝は運行しません。

1回乗車(片道) **200円**

のりおりできる場所

◆時刻表◆

運行区間の種類	乗合乗取行き	乗合乗取帰り
① 輪銅駅までのおでかけ便	法住寺方面 7:15頃 → 輪銅駅着7:20頃 柏原方面 7:25頃 → 輪銅駅着7:30頃	7:38発 7:40発
② 法住寺方面	法住寺方面 8:00頃 → 輪銅駅着8:05頃 柏原方面 8:10頃 → 輪銅駅着8:15頃	8:25発 8:38発
③ 輪銅駅からのおかえり便	法住寺方面 9:15頃 → 輪銅駅着9:20頃 柏原方面 9:25頃 → 輪銅駅着9:30頃	9:38発
④ 法住寺方面	法住寺方面 11:30頃輪銅駅発	11:23発
⑤ 柏原方面	柏原方面 11:40頃輪銅駅発	11:23発
⑥ 法住寺方面	法住寺方面 13:30頃輪銅駅発	13:26発
⑦ 柏原方面	柏原方面 13:40頃輪銅駅発	13:26発
⑧ 法住寺方面	法住寺方面 16:30頃輪銅駅発	16:20発
⑨ 柏原方面	柏原方面 16:40頃輪銅駅発	16:20発

◆「のりタク」のご利用方法◆

◆ 前日までにすること ◆

- でんわをかける。
スズ交通(82-1221)
※利用したい日の前日までにでんわしてください。
- 「のりタク」を利用したいと伝える。
- ご自分のお名前を伝える。
- 利用したい便(①～⑥便)を伝える。
- のる場所(①～③便)、もしくはおりの場所(④～⑥便)を伝える。

◆ 当日 ◆

5分前までに「のりタク」のりばへ行く。
※時間におくると乗車できないことがあります。

◆ ご注意 ◆

- 普通のタクシー車両に「のりタク」の表示をつけて運行します。
- ご自宅までのお迎え、おとだけはできません
- ご予約後、「のりタク」を利用できなくなった場合には、お早めにご連絡ください。

【お問い合わせ先】 珠洲市地域公共交通活性化協議会(珠洲市企画財政課内) 電話番号 82-7716

3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

交通空白地帯への支援(のりタク)



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

連携事業(ふるさとバスの運行)



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

連携事業(ふるさとバスの運行)



3 - 地方の元気再生事業による“かたち”の探求

7) 平成21年度の主な取組み

交通拠点の再整備



まちづくり交付金事業によるバスターミナル整備
(平成22年3月末完成)

4 新たな時代に対応できる“かたち”の第1歩として

地域が支える過疎地域交通の“かたち”を創る。

新たな運行主体(集落・NPO、新規参入事業者など)

運行路線の効率化(重複路線解消、ダイヤのスリム化)

高齢者の移動手段確保(交通空白地帯への対処)

“しくみ”を支える「人材」「関係者」の醸成

お わ り

ご静聴ありがとうございました。

石川県珠洲市企画財政課

課長 金 田 直 之